

すくすくみどり

No.19

種からの花づくり



財団法人 札幌市公園緑化協会



●はじめに	P1
●1. 種から花を育てる優位性.....	P2
●2. 発芽に関わる要因.....	P4
●3. 苗作りの具体的方法.....	P6
◆種まき	P6
◆発芽後の管理.....	P11
◆ポット上げ	P11
◆追肥・摘芯	P13
◆鉢ゆるめ.....	P14
◆戸外出し.....	P14
●4. 代表的な作業例.....	P15
●5. 難発芽種子を発芽させる!	P20
●財団法人 札幌市公園緑化協会の 環境マネジメントシステム	P22
●札幌市都市緑化基金	P24
●第40回緑の絵コンクール大賞作品	P26
●第18回緑と花のフォトコンテストグランプリ作品...	P28
●平成18年度札幌市都市緑化基金事業報告	P30



は じ め に

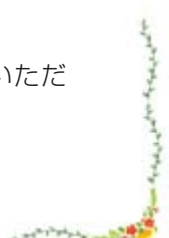
現在、札幌市では、緑豊かな街づくりの一環として、市民の緑化意識の向上と、自主的な緑化活動の推進を目指して、平成17年度より「マイタウン・マイフラワープラン」事業を実施しています。これにより、例えば歩道の植樹ますや公共用地等に植える花苗を、市内の幼稚園・小学校の子どもたちや地域の方々が育成・植栽するなど、行政・学校・地域の協働事業が取り組まれています。

植物の栽培方法については、書店にもたくさん出回っていますが、北国向け、特に札幌を標準としたものにはなかなかお目にかかることができません。四季だけをとっても長く寒い冬、遅く短い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しく夜温の下がる夏短い秋など、本州と札幌では気候が大きく異なります。ひとことで言うと、札幌の気候は、夏季冷涼で降水量の少ないヨーロッパに似ていると言えますし、寒暖の差が大きいことなどから、札幌で栽培する花の美しさは折り紙つきです。

このような恵まれた環境をいかし、さらに私たちがちょっとした知識やコツを加え、愛情を注ぐことによって、植物はもっともっと美しく輝いてくれることでしょう。

この「すくすくみどりNo.19」では、札幌市が進める「マイタウン・マイフラワープラン」事業に合わせて、北国札幌の気候をいかし、植物を種から育てるうえでの特徴や楽しさなどをご紹介します。

皆様の「花づくり」にあたり、この冊子が少しでも役立てていただければ幸いです。



1. 種から花を育てる優位性



— 種からの花づくりには良いことがいっぱい! —



みなさんは種をまいて花を咲かせたことがありますか？

難しそうだし、面倒だと思われるかもしれませんが、

良いこともたくさんあります。

良いこと

1

植栽計画が立てやすい

庭や玄関、ベランダなどに使いたい花を揃えることができます。冬の間に計画を立て、植栽する花をじっくり選びます。苗が準備できれば、園芸店やホームセンターを走り回って探す必要は少なくなります。

良いこと

2

自分だけの花を植えることができる

最近は、外国の種子も大規模な園芸店で入手できるようになりました。これらは苗で入手することが難しく、種から育てる必要があります。他の方が育てていない花を飾るのも個性的ですし、意味のあることではないでしょうか。

良いこと

3

たくさんの苗を作ることができる

たくさんの苗が必要な場合でも、種から育てるとそれほど費用はかかりません。種から花を育てるのは、経済的にも大きなメリットだと思います。

良いこと

4

植物の性質を把握できる

種から育てていると、時には弱ったり、病気にかかったりすることもあります。しかし、そうした経験を通じて植物の持つ様々な性質を理解することができ、結果的により多くの種類の植物を使いこなせるようになるでしょう。

このように、種から植物を育てることには大きな利点があります。種から花を育てるには、まず発芽させることから始まります。しかし、外国の種子の一部や庭で採種した種子などの中には、簡単に発芽しないものもあります。いろいろな植物の種子を取り扱う上では、発芽に関わる要因を理解しておくとても役立ちます。



ボーダーガーデン

輸入した種子から苗を育て、作り上げた宿根草花壇。



ロックガーデン

管理の難しい高山植物も種子から育成すると育てやすい。



エリウム

入手の難しい植物も種からならたくさん作ることができる。



エキウム

個性的な植物の育成は種子から苗を作ることによって可能となる。

2. 発芽に関わる要因



—どんな種でも発芽させる基本—

種子が発芽するには、いろいろな要因が関わってきます。例えば、水が必要なことは誰もが知っていることですが、ここでは一連の要因について少し掘り下げて考えていきましょう。

水・酸素

水は発芽のために不可欠です。ただ、乾燥させると全く発芽しないことから、どうしても水を多く与えがちになってしまいます。しかし、種子も呼吸しているので、酸素を取り込まないと発芽させることはできません。水分が多すぎても発芽しないのです。

例えば、コスモスやヒャクニチソウはやや乾き気味で発芽しやすいことが知られています。種子は全体に水分が触れなくとも、十分に吸水することができます。また逆に、過度な水分は種子を腐らせます。用土を必要以上に湿らせなくとも十分発芽することを知っておきましょう。

温度

種子にはそれぞれ発芽適温があります。これは、生育できない冬には発芽しないで、春に発芽してゆっくり育つ期間を設けるためで、植物種子の発芽適温は、原産地の気候を反映し、原産地の春先の温度に近いものが多いようです。例えば、私たちが身近に見る四季咲きの一年草の多くは温帯から亜熱帯原産のものが多く、発芽適温は20℃前後です。

また、やや冷涼地を原産地とする一年草や宿根草は20℃よりもやや低い温度で発芽します。低温の地域を原産地とする高山植物などは10℃程度で十分です。市販の

さまざまな植物の発芽適温

インパチエンス	21℃	ペチュニア	21℃
カーネーション	21℃	タチアオイ	16℃
キンギョソウ	18℃	マリーゴールド	21℃
シクラメン	16℃	エゾムラサキ	13℃
スイートピー	13℃	オジギソウ	27℃
ゼラニウム	24℃	ラークスパー	13℃
ダリア	21℃	ルピナス	13℃
ビオラ	18℃	ネメシア	18℃

種子の袋には発芽適温が記載されているので、これを守りましょう。外国の種子や自家採種した種子をまく場合などでも、暑さに対する強さ、生育適温、原産地などの情報からおおよその適温を知ることができるでしょう。なお、部屋の温度が高すぎると発芽しないものもあるので注意してください。

光

種子の発芽には、光を必要とするもの（明発芽種子）、逆に光に当たると発芽しないもの（暗発芽種子）があることが知られています。明発芽種子にはアゲラタムや、インパチエンス、サルビアなどがあります。暗発芽種子にはキンセンカやシクラメン、ゼラニウムなどがあります。しかし、はっきりした明るさ（暗さ）が必要なわけではありません。例えば、アゲラタムを播種した後、新聞紙をかけても発芽するように、多くの場合、あまり神経質な対応は必要ありません。

休眠

寒冷地原産の植物で野生種の性質を強く受け継ぐ植物の種子には、自発的に休眠しているものがあります。自発的に休眠している種子は、適度な水分や温度、光を与えても発芽しません。これは、厳しい環境下でいっせいに発芽するのではなく、数カ月から数年かけて発芽することにより、種の絶滅を避けていると考えられています。

外国の宿根草種子の多くや寒冷地産の植物、高山植物などには簡単に発芽しないものがあります。適正な発芽処理を施しても発芽しない場合はすぐに諦めず、自発休眠している可能性を考えます。休眠を打破する方法として低温処理が知られていますが、2～3℃またはそれ以下の温度に一定期間（多くは8週間ほどで十分です）置いて温度変化を与えます。種をまいても発芽しない場合、寒い倉庫内へ入れたり、あるいは雪の下に埋めてしまうと休眠は打破され発芽します。

すぐに発芽せず休眠することが知られている植物

多くのアリウム	シヤクヤク
アルストロメリア	高山性のプリムラ
アンドロサケ	オキナグサの仲間
一部のクレマチス	一部のスミレ類
コマクサの仲間	トロリウス（ボタンキンバイ類）
多くのリンドウ	ラナンキュラス
クリスマスローズ	レウイシア
アヤメ類	エゾリュウキンカの仲間
カタクリの仲間	一部のユリ

3. 苗作りの具体的方法

—さあ種まきに挑戦!—



ここでは、発芽しやすい種子を播種^はする場合の具体的方法について説明します。難発芽種子についても発芽後の作業は同じです。

種まき

時期

一年草の場合、多くは5月下旬に植栽が可能となります。一年限りのものですからそれまでに苗を完成させ、長く楽しみたいものです。播種^はから植え付けまで種類により60～90日程度を要するので、2月下旬～3月が種まきの適期です。宿根草も実際は同じですが、一年草以上に時間を要するので、植栽は初夏や秋となります。

容器

最近は、室内を汚さないで作業できるように様々な容器が販売されています。ここではそれらを含めたいくつかの容器について紹介します。

—ピートバン—

ピートモスを圧縮し板状にしたもので、種まきの培地として使用します。このピートバンは、本葉が出始める頃までの初期生育用として作られています。

手を汚さずに種まきができ、ポットにも鉢上げしやすいことから、室内でも有効に利用できるでしょう。



水に浸して膨らませた後使用する。
受け皿もセットになっている。

ーセルトレイー

小さな容器がたくさん連結したもので、用途に合わせて様々な大きさのものが 있습니다。最大の利点は、種をまいてから苗が安定した大きさになるまで育苗できるため、生育初期段階で根を傷めることがないことと、ポット上げする際に根にあまり触れる必要がないことです。均一な苗を作るには最も適した材料の一つです。



生産者がよく使用する。均一な苗を作りやすい。

ーポット（直まき育苗）ー

ポットへの直まきには種類の選択が必要です。2寸ほど（直径6cm）の小さなポットにマリーゴールドやヒャクニチソウのような比較的粒の大きな種子をまく場合に使います。しかし、これ以上の大きさのポットでは根圏に対して鉢容積が大きいため、用土の乾きが遅く、通気性も悪くなり、生育の遅れや、時には立ち枯れ病などの病害が発生する危険性があります。

苗が大きくなるに従いポットを大きくするのが基本です。



苗作りには縦長のロングポットを利用したい。

ーピート性ポットー

ピートモス性のポットで、育苗した苗をポットごと植え込むことができます。植え込んだ後、ポットは分解され土にかえり、手軽さという点では利用価値がありますが、植栽後もしばらくポットが分解せず根張りを阻害することもあるので注意が必要です。苗作りの場合、最終的には10.5cm以上に仕上げたいのですが、現在は直径8cmほどのサイズまでしか一般に流通していないことが残念です。



輸送性のためか厚めに作られており、やや分解しづらい。

—ピート性培土鉢—

ピートモスを円柱状に圧縮し、小さな用土入りのポットにしたものです。直接種をまき、周囲に根が張ったらそのまま植え付けます。ただ、直径が3～4cmしかなく容積は小さいので、アサガオやヒマワリ、コスモスのように温かくなってから種をまき、そのまま屋外で鉢や花壇に植え付けるものには使えますが、2～3月の室内での播種には不向きでしょう。



水に浸して膨らませた後使用する。
播種穴もあいている。

このほか、プラスチックポットやバットに初期育苗を目的としてまく方法もあります。本葉が出始めてセルトレイに上げるような場合は、多めに種をまいても大丈夫なので、プラスチックポットがスペースの有効利用の点からも適しています。

ある程度大きくなるまで（本葉が3～4枚出るまで）育苗する場合は、大きなバットに少量の種をまきます。

このように、発芽後の管理を考慮しながら容器や播種量を決めると良いでしょう。

用 土

水はけの良いことが重要です。

特殊な植物を除いて、軽くて水はけの良い培養土が使いやすく、市販の種まき用土を使うとよいでしょう。ただ、バットのような大きな容器に播種する場合は、市販のピートモス主体の用土では排水性がやや弱まり、保水性が強くなる傾向があります。これを防ぐため、赤玉土（小粒）やパーライトのような水はけが良く、粒の大きな用土を2～3割混入するとよいでしょう。

なお、高山植物など特殊な植物ではそれぞれに応じた用土を使用しましょう。



市販の種まき用土



ピート主体の培養土

覆 土

覆土は種子の吸水を促し、根の浮き上がりを防止するために行います。覆土が薄い場合、主根が太ければ土壤の抵抗を受けるので浮き上がりやすくなり、初期生育が遅れてしまいます。一方、覆土が厚すぎると通気性が悪くなり、発芽率の低下や種子の腐敗を招きます。どちらかという、覆土は厚くならないように気をつけましょう。

なお、ペチュニアやキンギョソウのような微粒種子は覆土しません。インパチェンスやポーチュラカのような小粒種子には隠れるか隠れないか程度、ヒャクニチソウやマリーゴールドのような中粒種子は隠れる程度、アサガオやヒマワリのような大粒種子には種子1～1.5個分の覆土が標準です。



様々な大きさの種子

水やり

用土を十分に湿らせてから播種し、播種後も上からの水やりは避けます。特に、微粒種子は水に流され、発芽の偏りや発芽率の低下につながるので鉢底から吸水させるようにしましょう。微粒種子の播種は、バットのような大きな容器よりも小さめの鉢の方が初期管理の点でも扱いやすいでしょう。水をためた鉢受けに置いておくと、水分量が一定し発芽には有効ですが、浸し過ぎないように注意します。鉢の大きさにもよりますが、1～2cmも浸かっているだけで十分です。



播種後は鉢受け等に水をためると管理しやすい。

播種後の管理

まいた種子の発芽適温を考慮し置き場所を決めます。鉢の表面が乾き過ぎると発芽にむらが出るので、直接光が当たらないように新聞紙などをかけると、鉢受けの水温も必要以上に上がらないので安心できます。

発芽後の管理

置き場所

日当たりの良い場所に置きます。発芽適温よりやや低い温度の方が徒長せず、締まった草姿になります。

水やり

発芽直後に上から水を与えると、倒伏したり、植物にストレスがかかって生育が遅れることもあります。また、根が浅いうちは表面の乾きによって枯死することもあります。さらに、いっせいに発芽するとは限らず、まだ発芽していないものがある場合もあります。発芽直後は水に浸したままにし、徐々に水の量を少なくしていくとよいでしょう。

発芽後10日もすればある程度根は伸びていますので、多少の乾きには耐えてくれます。しかし、苗が小さなうちは倒伏しないような水やりをしなくてははいけません。苗にかからないように水差しを使って優しく与えたり、底面から与えるなど丁寧に扱います。

ポット上げ

時期

播種した時の種子の密度、上げるポットの大きさ（セルトレイ、ビニルポットなど）によって異なりますが、「根の絡まないうちに」ということが基本となります。ただ、子葉のうち主根のみで支根が出ておらず、この時期の根の傷みは致命的な生育の遅れをもたらすので、本葉が出てからとします。一方、根が絡んでしまうと栄養分の取り合いにより生育の遅延が起きますし、ポット上げ時は根を傷めざるを得ません。また、作業効率も悪く、必要以上に手間がかかってしまいます。

ポット上げのタイミングを計るには、少し引き抜いて根の状態を確かめてみるとよいでしょう。

用 土

基本的には、播種用土と同じ用土を使います。ただし、セルトレイくらいの大きさであればピートモス主体の培養土で構いませんが、それ以上大きなポットに上げる場合は、通気性に問題が生じ、生育の遅れや病気になる危険が高まります。赤玉土やパーライトなどを混入することによって排水性や通気性を高めると、より堅実な生育が期待できるでしょう。

施 肥

ポット上げ時に元肥として緩効性の化成肥料を少量混入すると生育が早まります。速効性肥料の混入は避けましょう。ポット上げ直後は多少なりとも根が傷んでおり、そこへ肥料が入りこむとさらに根を傷めてしまいます。

室内では、温度は十分でも光量は不足しがちなので、草姿が乱れないよう窒素分の与え過ぎに気をつけます。また、市販の培養土の多くには肥料分が混入されているので、それらを主体に使用する場合は、元肥の必要はありません。

ポット上げ後の管理

直射日光には当てないようにします。ポット上げ後は根が傷んでいるため、吸水力が弱く、葉面からの蒸散や鉢の乾きに耐えられません。ですから、新聞紙や寒冷紗をかけて柔らかい光にしたり、弱光線の場所でならしたりすると良いでしょう。特に、性質の弱い、育てにくい植物に対しては慎重に行います。種類によって多少の差はありますが、一般には一週間ほどで光に当てて大丈夫でしょう。

水やりは、水差しなどを用いて直接植物に当てないように行います。植物体に水を当てるとその振動で根にもストレスがかかり、回復が遅れて生長にも影響を及ぼすので注意しましょう。

新しい葉が動き始めたら根も回復したと判断できますし、ここまでくれば、苗は安定した状態に入りすすくと生長していきます。元肥を与えずに育てる場合は、速効性の化成肥料などの置肥を与えてもよいでしょう。

追肥・摘芯

根の量も増え、地上部も大きくなるに従い、苗はより多くの養分を必要とします。元肥の肥効期間に気をつけ、肥料分を切らさないように置肥をしますが、安価な化成肥料で十分でしょう。液肥も非常に有効ですが、鉢花を育てるならともかく、花壇苗作りではそうした手間をかけなくても良いでしょう。

摘芯は、四季咲き一年草にはぜひ行いたい作業で、一番花（最初に咲く花）は蕾の小さいうちに切除します。

分枝してきた枝も、先端をつまんでさらに分枝を促します。そうすることで、美しくボリュームのある草姿になり、花壇植栽後の見映えも向上します。



摘芯を行うことによりしっかりした草姿に作るができる。

鉢ゆるめ

鉢全体に根が回ってきたら、生育を停滞させないように速やかに鉢ゆるめを行います。鉢から苗を取り出しても用土がなんとか崩れない状態になった時が適期です。用土がボロボロ落ちるようでは根を傷めてしまいます。また、びっしりと根が回っているようでは既に生育の遅延を招いていますし、ゆるめた後の根の広がりが遅れ、さらに生育が遅れてしまいます。ですから、根の回り具合は、「なんとか崩れない」というくらいの状態がベストです。実際には、鉢底に根が少し見えた頃が鉢ゆるめの適期ですが、時にはその頃には根が回り過ぎている場合もあるので、時々苗を取り出してチェックすることが大切です。

鉢ゆるめの段階にすれば、苗もすっかり安定し屋外への植栽を待つばかりとなります。



(左)

根が回っておらず時期尚早。

(中央)

全体に根が回りそろそろ鉢ゆるめして良い時期にきている。

(右)

根が回り過ぎている。鉢底にもびっしり根が回る程になると生育が遅れる。

戸外出し

5月中旬を過ぎれば遅霜の心配もなくなり、屋外での管理が可能となります。しかし、まだまだ夜温が低いので、いきなり外に出すと屋内との温度の違いに植物は強いストレスを受けてしまいます。涼しい玄関近くに数日間置くなど、徐々に外に出すようにしましょう。また、いきなり強い光に当てることもよくありません。温度と同様に徐々に外に出すようにしましょう。

4. 代表的な作業例

— ペチュニアとダリアの基本作業 —



家庭での初期管理の方法を代表的な植物を例にして紹介します。

ペチュニア

微粒種子で苗も小さいので、最初のポット上げは小さな容器のセルトレイに、それからビニルポットへと進めていく方法で育ててみます。



1

種まきは4寸のプラスチックポットを使用。小さな苗の移植には小さめのポットが作業しやすい。



2

用土はピートモス主体の培養土単用とする。微粒種子の場合、赤玉土が表面にあると吸水むらが起こるばかりでなく、根が土中に入り込めない（表面1cm分を培養土単用、その下層を赤玉土混入用土とするなどの方法もある）。



3

水はけを確保するため、ゴロ土を少量敷いてから培養土を入れる。



4

種子が移動しないように表面を丁寧にならす。版画用のバレンなどを使うとよい。



5

前もって水につけ用土をぬらした後、鉢全体に均一に種をまく。厚紙等を折って使うとまきやすい。



6

は播種後は新聞紙等をかけ、直射日光を避ける。



7

発芽した状態。鉢受けの水の量も減らした。



8

本葉がはっきり見えてきた。セルトレイに上げてても良い状態。



9

セルトレイに用土を詰め込み、先に湿らせておく。



10

根を傷めないように慎重に苗を取り出していく。小さな葉さじやへらのようなものを使うと作業しやすい。



11

細い棒を使って穴をあけ、苗を入れていく。すき間ができないように、かつ根を傷めないように優しく土を寄せていく。



12

直射日光に当てないようにしばらく管理する。



13

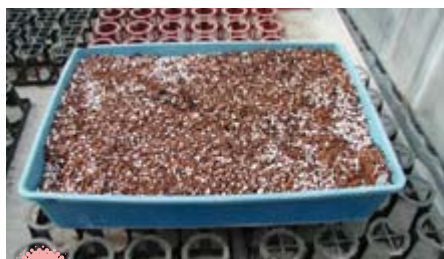
水やりは水差しを使って優しく行う。

ダリア

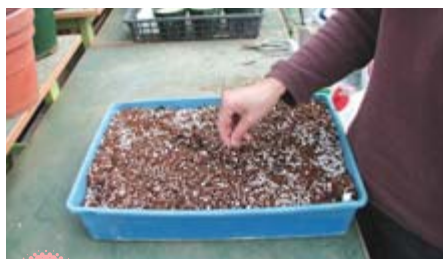
種子の大きさは中くらいで、苗は比較的大きく、根も少し太目です。ダリアのように根の太いものは一般的に支根の数も少なく、生育も緩やかです。種まきした培地である程度大きくする方が管理がしやすいので、大きなバットに密にならないように播種し、直接ビニルポットへ上げて管理してみましょう。



1 大きめのバットを使用。



2 ある程度の期間生育させ、覆土によって根の浮き上がりを防止できることから、排水性を重視し、赤玉土を混入した用土を使用。



3 表面をならした後ばらまきする。多くまき過ぎないように注意する。



4 覆土するくらいの種子の場合、上部からの水やりも可能。その場合は、目の細かいじょうろを使用する。



5

発芽数が多い場合、間引きによって数を調整し、生育を進めていく。

5. 難発芽種子を発芽させる!



高山植物や山野草の多く、一部の宿根草といった温帯から寒冷地原産で品種改良の進んでいない野生の性質を強く受け継ぐ植物は、ただ種をまくだけではなかなか発芽しません。ここでは、発芽させることが難しい種子の発芽テクニックの一部を紹介します。

高山植物、山野草

コマクサやオキナグサ、フクジュソウといった高山植物、山野草は、発芽のために長期間の低温を必要とします。低温により休眠打破された後、発芽適温にあると発芽します。

- 播種後、数日間発芽適温を維持し、十分に吸水させます。吸水させないと低温に反応しません。
- 屋外へ移し、雪の下に置きます。
- 2ヵ月以上経過後、屋内へ取り込み、涼しい部屋へ置き、発芽を待ちます。春までそのままにして屋外で発芽させても構いません。

ヒマラヤの青いケシ

ヒマラヤの青いケシのように暑さに非常に弱く、夏までにある程度生育させる必要のあるものはできるだけ早く発芽させなくてはなりません。青いケシは高山植物の一種ですが、比較的休眠が浅く、ホルモン剤などを使うと速やかに発芽します。

- ジベレリン（園芸店などで販売されている）の水溶液に一晩種子を浸す。
- 播種後5℃程度の低温に2週間ほど置いた後15℃程度の部屋で発芽させる。

ジベレリンは、低温の代替として働き、必要な低温期間を短縮することが可能で、発芽を急がせたい時に有効な薬剤です。



発芽した青いケシ。
一年草のように一斉には発芽しにくい。



開花した青いケシ。
その色は「究極の青」とも呼ばれている。

クリスマスローズ

クリスマスローズは低温に当てるだけでは発芽しません。種子内の発芽抑制物質により化学的に発芽を抑制されているためです。発芽抑制物質を除去するとともに、長期間種子を乾燥させない工夫が必要です。

- 細かい網の目のネット等に種子を入れ、砂や土中に埋め込む。
- 秋になったら取り出し、^は播種する。ここで発芽する場合もある。
- 発芽しない場合は、冬の低温に当て春の発芽を待つ。
- 発芽しない場合は、この作業を繰り返す。

植物によっては、種子が発芽できる状態に熟しておらず、地面に落ちた後、さらに熟すタイプ(後熟)のものもあります。そのような種子は発芽までに一年以上を要する場合もあります。なかなか発芽しない場合、上記のような方法を試してみても良いでしょう。

財団法人 札幌市公園緑化協会の 環境マネジメントシステム



当財団は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、利用する市民に快適な生活環境づくりを提供するため事業を行い、「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持・改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用しています。

2007年度 環境目的・目標

事業部門

- 一般ゴミ排出量を削減する
- 植物系廃棄物を資源化し再利用する
- 緑化及び自然環境に関する普及啓発のための講習会及び公園観察会の参加者の増加を図る

オフィス部門

- 電気使用量を削減する
- 事務用品のグリーン購入率の向上を図る
- 民有地緑化と市民の緑化意識の高揚を図るための事業を行う

財団法人札幌市公園緑化協会環境方針を基に、2007年度の目的・目標を設定し、その達成に向けた取組を実施しています。

財団法人 札幌市公園緑化協会 環境方針

財団法人札幌市公園緑化協会は、「緑」を通じて生活環境づくりに寄与していくうえで、日々の事業活動において環境負荷の少ない社会の形成に努めます。

1 環境経営の推進

環境マネジメントシステムを継続的に改善し、経営管理の一環として環境経営の推進に努めます。

2 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に努力するとともに、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っていきます。

3 環境意識の啓発

職員をはじめ、事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して、地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

4 環境の維持・改善

事業活動とオフィス活動において、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減に努め、また、環境に配慮した商品の調達と購入を推進し、環境負荷の低減、地球環境の維持・改善に努めます。

5 環境汚染に対する危機管理の徹底

事業活動に伴って生じる環境汚染及び事故を未然に防止するとともに環境関連の法令を順守し、環境汚染の危機管理を徹底します。

6 法的及びその他の要求事項の順守

環境側面に関係して適用される法的要求事項及び財団が同意するその他の要求事項を順守します。



札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めています。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実（利子）で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を行っています

記念樹プレゼント

札幌市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどのの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで、返信用はがきが引換券となります。



ツタ苗の補助

対 象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など

補 助 数：植え込み予定の半数（最大15本まで）

申し込み：春秋の年2回



フラワーポットの貸し出し

対 象：市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

個 数：1団体あたり30個以上100個まで

規 格：70cm×24cm×20cm

貸出条件：3年間継続の設置。貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供で、次年度以降は、利用団体において用意等。

申し込み：年1回春のみ



第40回(平成18年度)

緑の絵コンクール

大賞作品



齊藤 七海さん

(札幌市立真駒内緑小学校 4年生)

第40回緑の絵コンクールは小学生の部では42校2,101点、中学生の部では15校246点、計2,347点の応募があり、審査の結果、小学生の中から斉藤七海さん、中学生の中から鈴木ひかるさんの作品を大賞作品として選考しました。

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小学生・中学生を対象として札幌市環境局みどりの推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。

大賞作品



鈴木 ひかるさん

(札幌市立琴似中学校 2年生)

第40回(平成18年度)

緑と花のフォトコンテスト

グランプリ作品



(実際の作品は四ツ切サイズ)

作品名「水あそび」

(大通公園)

撮影者 伊藤 雍二さん

ーグランプリ作品審査講評ー

この写真からは「声」が聞こえてきます。子供たちの歓声、水しぶき、そして、もしかすると蝉の声、鳥のさえずりまでもが、瞬間をキャッチしてもその前後の雰囲気伝わってくるすばらしい作品です。

構図的にもまとまっており、右下の噴水台の黒が画面全体を引き締めています。また、子供の表情や手の動きがとてもよく表現できたと同時に、光と影のコントラストで盛夏をうまく表現したところが、グランプリ受賞につながりました。おめでとうございます。

第18回緑と花のフォトコンテストには、四ツ切部門に74名180点、サービスサイズ部門に52名254点、計126名434点の力作が寄せられました。

四ツ切部門 優秀賞



作品名「夏の陽」
(百合が原公園)

撮影者 柴田 雅子さん



作品名「フラワー・カーペット」
(大通公園)

撮影者 遠藤 昶司さん



作品名「夏の夜の祭典」
(旭山記念公園)

撮影者 種田 亜男さん

サービスサイズ部門 優秀賞



作品名「秋便り」
(若草公園)

撮影者 東 久子さん



作品名「小さな秋」
(真駒内公園)

撮影者 市川 俊明さん



作品名「綺羅」
(滝野すずらん丘陵公園)

撮影者 川上 和子さん

平成19年度も第19回緑と花のフォトコンテストを実施し、札幌市内の公園や緑地における、緑や花の魅力・美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した作品の募集を予定しています。(応募締切:平成19年8月末日)

平成18年度 札幌市都市緑化基金 事業報告

1 植樹等による民有地緑化事業

(1) 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝い之际して、自宅の庭等で大切に育てていただくことを目的に、事前応募による苗木のプレゼントを行いました。

■ 配付月日 春季：平成18年5月13日(土)・14日(日)

秋季：平成18年10月14日(土)・15日(日)

■ 配付場所 百合が原公園

■ 配付苗木及び本数

春 季		秋 季	
配付苗木名	配付本数	配付苗木名	配付本数
ライラック(花色:白色)	40本	ライラック(花色:白色)	36本
ライラック(花色:紫色系)	56本	ライラック(花色:紫色系)	42本
ライラック(花色:ピンク系)	86本	鉢植え向きライラック	132本
クロフネツツジ	329本	クロフネツツジ	160本
エゾムラサキツツジ	210本	エゾムラサキツツジ	106本
ドウダンツツジ	256本	ドウダンツツジ	151本
ヒノデツツジ	315本	キレンゲツツジ	116本
モクレン	141本	ハマナス	38本
キングサリ	193本	キングサリ	73本
コデマリ	213本	ナツツバキ	157本
ヤエザクラ	141本	ヤエザクラ	51本
エゾヤマザクラ	90本	エゾヤマザクラ	40本
ブンゴウメ	237本	ブンゴウメ	63本
ブルーベリー	960本	ブルーベリー	688本
プルーン	359本	プルーン	181本
サクランボ	174本	サクランボ	78本
ハスカップ	410本	カシス	162本
小 計	4,210本	小 計	2,274本
合 計		6,484本	

(2) 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植え込み予定数の半数(最大15本まで)のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春 季	秋 季	合 計
補 助 件 数	15件	18件	33件
補 助 苗 数	120株	91株	211株
緑 化 延 長	267㎡	200㎡	467㎡

(3) フラワーポットの貸し出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸し出しました。

(貸し出し初年度のみ花苗と培養土を提供)

区 分	団 体 数	貸 出 数	備 考
町 内 会	12	751基	中央区3、北区3、東区4、西区2
自 治 会	4	239基	中央区2、南区1、手稲区1
商 店 街	3	250基	中央区1、北区2
合 計	19	1,240基	※新規貸出分のみの合計数

2 緑化推進に関する普及啓発事業

(1) 第18回緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点(各部門3点)、入賞20点(各部門10点)を選考しました。

■応募総数 126名 434点 四ツ切部門 74名 180点

サービスサイズ部門 52名 254点

■表彰式 平成18年10月12日(木)札幌すみれホテルにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与

■入賞作品の展示 期間：平成18年10月13日(金)～10月19日(木)

場所：札幌地下街オーロラコーナー

(2) 第40回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小学生・中学生を対象とした、緑をテーマの絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品100点及び優秀校2校を選考しました。

■応募総数 小学生の部 42校 2,101点

中学生の部 15校 246点

■表彰式 平成18年10月28日(土)KKRホテル札幌において、入賞者に賞状及び副賞を授与

■入賞作品の展示 期間：平成18年10月27日(金)～10月31日(火)

場所：札幌地下街オーロラコーナー



園芸に関するさまざまなご相談をお受けしています

「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいのか?」こうした園芸に関するさまざまなご相談に、専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

▲緑の相談▲

●相談日・時間

上記休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

電話 811-9370

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

▲緑の相談▲

●相談日・時間

4月22日から11月4日の間の
毎週木、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

電話 772-3511

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

■開園時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休園日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
11月4日から翌年4月28日まで

▲緑の相談▲

●相談日・時間

4月29日から11月3日の間の
毎週水、土曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

電話 883-2891

〈温室観覧料〉

大人(高校生以上)……………130円
中学生以下・65歳以上……………無 料
(敬老手帳などをご提示ください)

みどりの図書

各センターでは、園芸、緑化、自然などに関する書籍や雑誌類をそろえ、自由にご覧になることができます。



最後になりましたが、平成18年度札幌市都市緑化基金への寄付につきましては、社団法人日本バーテンダー協会札幌支部様、ジェイ・アール北海道バス株式会社様、第四銀行札幌支店様、長尾真紀子様をはじめ、多くの皆様から多大なご寄付を賜りました。また、設置している募金箱へもたくさんの募金を頂戴しています。

この紙面をおかりして厚く御礼申し上げます。

皆様からいただきました募金は、金融機関に預け入れ確実に運用し、事業に役立ててまいります。誠にありがとうございました。

これからも、札幌市の「緑」が市民の生活の中から生まれ、「緑」豊かな街並が創出されますよう、札幌市都市緑化基金の事業を企画してまいります。



緑あふれる街づくりのため札幌市都市緑化基金の 募金にご協力をお願いします

募金箱の設置場所

百合が原公園・豊平公園・厚別公園・農試公園・川下公園・
前田森林公園・大通公園・円山公園・平岡公園・
モエレ沼公園・西岡公園・豊平川さけ科学館・
各区役所・札幌市環境局みどりの推進部

募金に関するお問い合わせは

札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階
電話 (011) 211-2522

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目 ニューワンビル4階
電話 (011) 211-2579



編集・発行 財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階
電話 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>

すくすくみどりは、財団ホームページからダウンロードできます。



この冊子は、緑と地球環境保護のため
古紙100%の再生紙と大豆インキを使用しています。